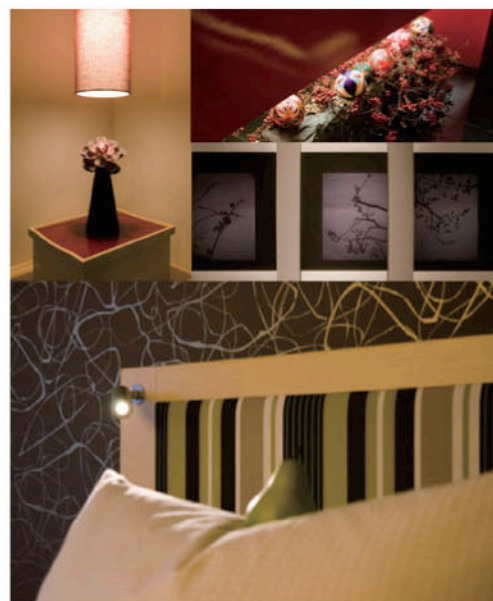


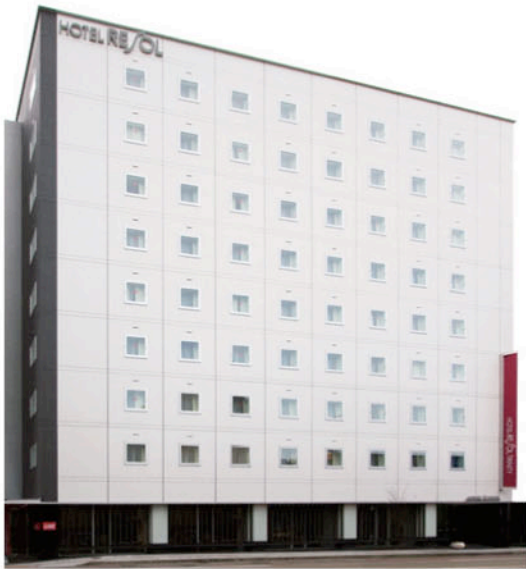
古き伝統の贅沢と、
新しきモダンの洗練を。
かつてないホテルライフ、
今、金沢の地に。



古き良き伝統を生かし、新しい空間をスタートさせる。
まさに、ここはそんな拠点であってほしい。との願いを込め、
「ネオ・トラディショナル“新しき伝統”を金沢から」をコンセプトに、
これまでにないスタイルのホテルを実現しました。

21世紀美術館の大盛況ぶり。この根底には頑ななまでも伝統を重んじる金沢市民が持つ、モダンへの強い憧れがあるように思えます。兼六園・武家屋敷・茶屋街など多くの観光名所から、九谷焼や金箔・水引きなど数多くの伝統工芸等、守るべきものが多く、ともすれば保守的になっていたのでしょうか。その殻を打ち破ったものがきつとこの美術館であったのかとも思えます。そんなこの地にふさわしいホテルとは、どのようなものであるべきなのか。「伝統とモダンの狭間でバランスよい空間作り」「地域にすんなり入り込み、県外から訪れる観光客をも魅了する」この2点を最大のポイントと位置づけ、現代的伝統美のあり方を金沢で表現しつつ、リーズナブルに宿泊できるホテルをめざしました。



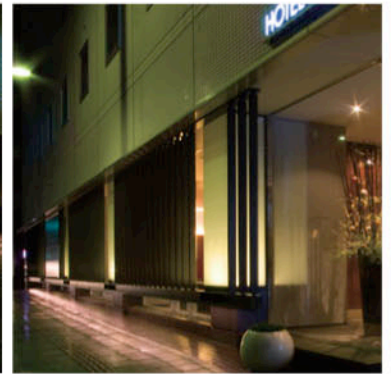


金沢の目抜き通りに際立つ端正な外観

金沢の冬景色“モノトーンの世界”と、金沢城のカラーリングコーナーのアクセントを、モチーフに。

縦格子と行灯照明をモチーフとして金沢らしさを表現した1階ファサード

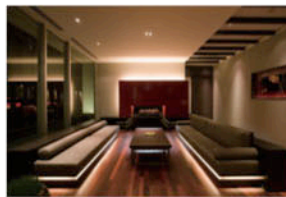
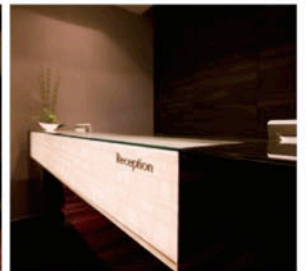
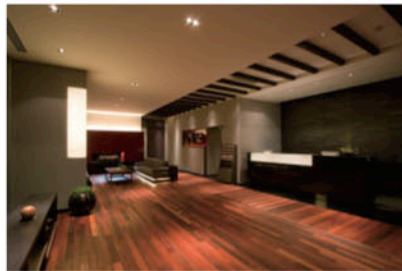
斜めから見ると、縦格子がつくる面は連続し大きな構えとなる。近付くにつれて内部の雰囲気を感じ取ることができる。



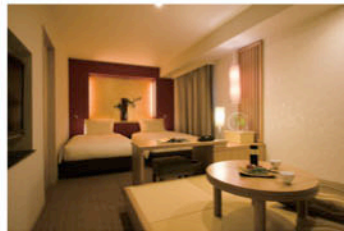
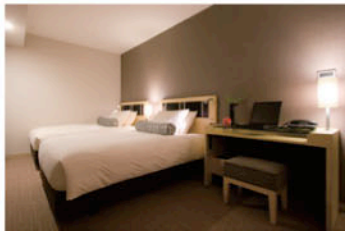
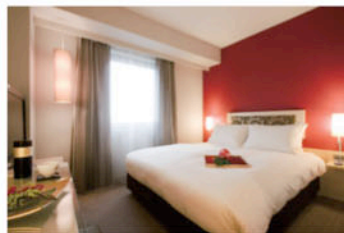
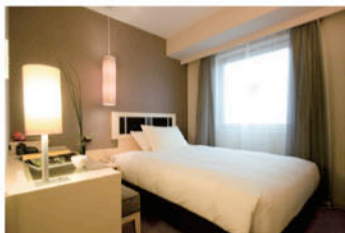
Façade



Entrance & Lobby

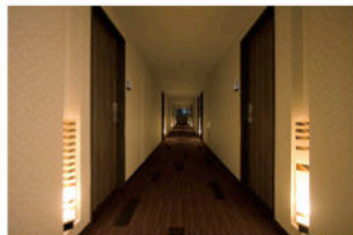


訪れる人、和紙の光、
金沢の工芸品が映える
モノトーンを基調とした空間。



Guest Rooms

能登の粋、森の都、加賀の雅などをテーマにしたネオ・トラディショナルな客室。



客室内では靴を脱ぎ、くつろぎの時間を過ごす。そんな癒しのスタイルを提案します。

ホテルリソルトトリニティ金沢

〒920-0855 石川県金沢市武蔵町1-18
TEL.076(221)7700 FAX.076(263)7711

<http://www.trinity-kanazawa.com/>